

平成 30 年度第 1 回岡崎市動物行政推進協議会会議録

日 時 平成 30 年 5 月 15 日 (火) 14 時 00 分～15 時 30 分

場 所 動物総合センター 研修室

出席及び欠席者 出席 12 名 (石原委員、小芦委員、合田委員、庄村委員、杉浦智恵子委員、杉浦清丸委員、古澤委員、牧委員、矢部委員、幸村委員、渡邊委員)
欠席者なし

会議次第

1 あいさつ

動物総合センター所長の浅井からあいさつ

2 協議事項

(1) 平成 29 年度の目標と実績について

(説明)

事務局から平成 29 年度の目標と実績について説明

(協議内容)

・29 年度目標にある狂犬病発生時のマニュアルというのは市として作成するものなのか。(合田委員)

→市として作成していくもの。現在素案ができていますので、今後関係部局と協議し完成に向け進めていく予定である。(事務局)

・アライグマ・ヌートリア被害防止対応マニュアルというものは、市が独自に作成したものか、国等の指針に基づいて作成したものなのか、内容は公開されているのか。(合田委員)

→市が独自に作成したものである。内容は市民に対するものではなく、市の関係部署の対応マニュアルとなっているため公開はしていない。狂犬病発生時のマニュアルも公開しない予定。市民の皆様には狂犬病予防注射等の啓発を行っていきたい。(事務局)

・アライグマは特定外来生物であり、鳥獣被害もある、人獣共通感染症として保健所の管轄でもある。そのため、市として積極的に捕獲した方が良いのではないかと。そのような体制はつくれないのか。アライグマを野外で見る機会が多く、増えている気がするのだがどうか。農業被害はあるのか。(矢部委員)

→アライグマの農業被害はあり、資料別紙 3 のとおり年々増えてきている。(事務局)

・アライグマは増えていると思う。別紙の 3 の数字は、市が関与しているものだけか。(小芦委員)

→別紙 3 は市が関与しているものの件数である。(事務局)

・JA で農業被害のデータを出しているが、この資料より数が多い。資料 2 でアライグマの被害の地域が偏っているが、他の地域ではないのか。(杉浦清丸委員)

→相談を受けている地域を載せている。これは、生活被害のみで農作物の被害は含まれていない。(事務局)

・一度市全体でアライグマの生息調査をしてみてはどうか。ヌートリアの被害はどうなっている

のか。(矢部委員)

→ヌートリアについては生息区域が広がっている。樫山町、鉢地町、矢作町等で目撃されている。

ヌートリアは河川の法面等での土木的な被害もある。(事務局)

・アライグマは名前が可愛いので、名前を怖いものにしてはどうか。また、アライグマを捕獲することがなぜ違法になるのか教えてほしい。(古澤委員)

→アライグマは外来生物法による、特定外来生物にあたるため飼育、保管又は運搬は原則として禁止されている。(矢部委員)

・20年ほど前はアライグマを自施設で飼っていたこともある。(牧委員)

・ハクビシンやアライグマは空き家に住んでいることが多いため空き家対策も必要となってくるのではないかと。(石原委員)

・空き家に関しては、空き家等対策の推進に関する特別措置法ができ国が動いている。行政代執行ができるが、所有者がわからない空き家を1件対策すると、全部対策をしなければならなくなるのが問題となっている。代執行に1件100万円くらいかかる。空き家に関する情報共有が市役所の部署間で必要となってくる。建築の部署だけの問題ではない。(庄村委員)

(2) 平成30年度の目標と実績について

(説明)

事務局より平成30年度の目標について説明を行った。

(協議内容)

・いのちの教室は目標にないが無くしたのか。(杉浦智恵子委員)

→今回は目標に入れていないが、継続して実施するための体制について模索していく。(事務局)

・動物園の獣舎の耐震補強の改善はどうなったか。(矢部委員)

→動物園は今年で35周年となり古くなっている。インコ舎、放鳥舎、サル舎へと順番に少しずつ改修工事を行う予定。公園を所管する課と協働で進める。(事務局)

・国は公共施設の削減のため、老朽化を理由とした建て替えをやめて行こうという動きだと聞いている。小中学校の一元化や統廃合もありが、東公園動物園も統廃合の対象となっているか。

(庄村委員)

→岡崎市公共施設等総合管理計画では動物園の統廃合に関しての言及はない。(事務局)

・地元では野良猫が多くて困っている。TNR活動を行っているが、猫が増えて困っている。動物総合センターで避妊措置を行うことがあると聞いたがどのようなものか。(渡邊委員)

→猫の避妊措置モデル事業を行っている。これは野良猫問題を地域の問題と考える町の総代さんからの相談により行っている事業である。(事務局)

・南公園で200匹程TNRを行った。公園でもモデル事業を行ってほしい。(幸村委員)

・動物の遺棄防止として防犯カメラを公園に設置することはできないのか。(石原委員)

→プライバシーの関係で公園にカメラを設置することは簡単にはできない。(庄村委員)

・今回いろいろな意見が出たが、アライグマの重点捕獲等を行政にお願いしたい。(矢部委員)

(閉会)